

年頭のご挨拶



(一社)富山県測量設計業協会
会長 市森 友明

新年あけましておめでとうございます。
令和5年の新春を迎え、協会員の皆様方をはじめ日頃から当協会の運営に対して、ご理解とご支援を頂いております発注者の皆様、そして関係機関の皆様方のご健勝を心からお慶び申し上げます。本年は本格的にコロナの感染拡大が始まって迎える3回目の新年であります。3年近くもこのような状況が続いているにも拘らず、世界の経済は概ね回復基調であることに、人類、そして、世界の強さを感じました。また、未だに記憶に新しい、サッカーのワールドカップにおける日本代表の活躍は、我々国民に感動と勇気を与えてくれました。国民を一つにできる、スポーツの力の偉大さを改めて感じた次第です。
さて、昨年の災害を振り返りますと、令和4年8月3日からの大雨による被害が挙げられます。低気圧や前線に向かう高気圧の縁を回る空気や、台風第6号を起源とする暖かく湿った空気が西日本や北日本に流れ込んだため、北陸地方でも断続的に猛烈な雨が降り、記録的な大雨となりました。富山県内では、床上・床下浸水133棟の被害が発生した他、石川県内では、住宅の破壊や浸水被害を受けた住宅が1,570棟にも上る、大きな災害となりました(令和4年災害情報一覧、総務省消防庁より)。
このような状況において、当協会は、石川県測量設計業協会からの要請を受け、小松市の林道災害を担当し、協会員計11社が災害復旧調査設計業務に携わりました。このように、被災した県の企業のみでは対応できない規模の災害は、今後も発生すると想定されることから、日頃より

少なくとも北陸地域での協会間の連携が重要かつ、1県毎だけでなく、北陸地域全体での対応力を考慮していくことも必要ではないかと考えさせられる事象となりました。
さて、協会活動の話題に変わりますが、担い手育成における測量士専門学校への支援が本格化し、計250万円の奨学金を協会員に募り、専門学校様にお預けさせていただきました。残念ながら令和4年4月入学の応募が無かったことから、業界の認知度を高める対応として、計31校の高校を訪問しました。その結果、4校において、3次元測量を中心とした課外授業を実施することができ、僅かではありますが測量設計業の認知度向上につながったのではないかと思います。このような取り組みは始まったばかりであり、今後継続することにより、幾ばくかの効果が発現してくるものと期待している次第です。
また、現在のZ世代の高校生への訴求は、BIM/CIMを含めた3次元測量・設計が効果的であることが確認でき、BIM/CIMが建設システムのデジタル化や効率化だけでなく、人口減少時代における業界の担い手確保に必要不可欠であることを認識しました。さらには、BIM/CIMが先述したサッカーのように、若者を引き付ける、そして業界を一つにまとめる力となることを期待している次第です。
最後になりますが、今後とも当協会並びに会員企業に対し、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。

女性が働きやすい職場環境を目指して

～令和4年度「女性の集い」を実施して～

副会長(総務委員長) 鷺北 慎一 …… 26

協会の活動紹介

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・理事会 | 会長 市森 友明 …… 31 |
| ・総務委員会 | 委員長 鷺北 慎一 …… 32 |
| ・技術・経営委員会 | 委員長 寺島 雅峰 …… 32 |
| ・担い手確保特別委員会 | 委員長 麻生 正則 …… 34 |
| ・事業報告 | …………… 35 |

会員名簿 …… 45

運営組織図

協会運営組織図 …… 50

令和4年度(一社)富山県測量設計業協会会長表彰 (永年勤続表彰) …… 51

会員数の推移 …… 51

編集後記